

1. 整備状況把握ツールの概要

1.1. ツールの概要

本ツールには、大きく分けて以下の6つの機能（できること）があります。

表 1.1-1 本ツールの機能概要

No	機能	説明
1	一覧表示	調査票や各個別の一覧票を表示することができます。 (画面上には現在の入力状態も表示されます)
2	諸元情報入力	施設等の諸元情報を入力することができます。
3	位置情報入力	地図情報を入力することができます。
4	印刷	調査票や各個別の一覧表及び位置情報を印刷することができます。
5	データのエクспорт	データを以下の形式のファイルとして出力できます。 ・ 諸元情報：カンマ区切りの CSV ファイル ・ 位置情報：シェープファイル (※)
6	データ管理	以下の操作を行うことができます。 ・ 上位機関に渡すデータ（完了データ）の作成 ・ 上位機関での完了データ読み込み ・ データのバックアップ及びリストア

※ シェープファイルは、ESRI 社が開発した標準的な地図データフォーマットです。

調査様式と調査対象データ、諸元情報と位置情報の入力項目は以下の通りです。

表 1.1-2 調査対象一覧

No	調査様式	調査対象データ	諸元 情報	位置 情報
1	事業地区別実績調査票	国が行う事業又は国が補助する事業	○	—
2	農地の整備状況整理票	農地の整備状況 (事業によって整備された農地)	—	○ ※
3	基幹水利施設整備状況整理票	基幹水利施設 (受益面積が 100ha 以上のもの)	○	○
4	系統水利整理票	系統水利 (100ha 以上の受益農地を有してい るもの)	○	○
5	地方単独事業等実績調査票	国の補助を受けないで行う事業	○	—

※ 農地の位置情報には、属性情報（区画形状、用水状況、排水状況、農道整備状況等）を含む。